

伊藤ともこの議会報告



平成29年9月定例議会は、9月7日～28日まででした。議案と意見書は、全て可決されました。決算委員会では、税金の使い道のチェックと今後に向けた要請を行っています。

注目予算

● 図書司書配置事業費 13,185,053 円

<メリット>

学習用の資料の準備
教室に入れられない児童・生徒の居場所づくりなど
子ども達の心身の発達に寄りそえる役割を果たす事が
できるようになりました。

● 就学援助費 106,641,752 円

近隣自治体と就学援助率を比較すると・・・
那珂川町 25.4% (4人に1人) が就学援助を受けている
春日市 20.8% 筑紫野市 17.5%
大野城市 20.0% 太宰府市 17.5%
この背景に何があるのかを分析し、注視したいと考えています。



注目議案



○ 総合窓口運営業務委託

101,868,000 円

証明書発行などの窓口業務事業を委託し、民間活力の活用を行います。(平成29年～32年度まで)

【ネットの考え】

本来は正規職員が対応することが望ましいことです。少子高齢化に伴う労働人口の減少などの社会情勢の変化を考え、住民の皆さんへの質の高いサービスの提供を恒久的に行うためには、アウトソーシング推進は一定の理解を示します。

しっかりとした業者の選定と事故が起きた時の指示命令系統については、町が適切に行うことを求めました。

伊藤ともこの9月一般質問

非正規公務員の処遇改善について

現状

- ▶ 図書司書、保育士、栄養士など、資格を持ち命にも係わる責任が重い職の方のほとんどが非正規公務員で構成されている。
- ▶ 正規職員以外は長く勤められない法律や、那珂川町の規定がある。

課題

- ▶ 資格があるからこそ、その場所にその人が必要では??
- ▶ 長年の経験を活かせないのはなぜ??

解決に向けての質問

- ▶ Q: 複数年度に渡る任用などの処遇改善を求める
A: 単年度会計のため困難
- ▶ Q: 引き継ぎ期間を設ける事を求める
A: 人件費がかさむので困難。引き継ぎ書の作成と、所属長の口頭での補完で補う。

那珂川町の発展のためには、人を大切にし、育てることが重要です。自治体には特にその役割を担ってほしいと願います。

ふくおか市民政治ネットワークは、これからも一人ひとりが大切にされる社会をめざすことを最優先にした一般質問を行っていきます。

○ 那珂川町の公務員の内訳

平成29年8月現在

	男性	女性	合計
正規職員 一般職	123名	59名	182名
専門職※①	25名	55名	80名
合計	148名	114名	262名
嘱託職員※② 一般職	5名	22名	27名
専門職	26名	57名	83名
合計	31名	79名	110名
臨時職員※③ 一般職	7名	22名	29名
専門職	0名	29名	29名
合計	7名	51名	58名
非正規職員合計	38名	130名	168名
総合計	186名	244名	430名

※① 看護師・栄養士・図書司書・保育士・各種指導員・各種相談員など

※② 1年以内の任用。期間の合計は最長3年(町長が認めた場合のみ5年任用) 年度ごとの更新となる

※③ 2か月以内の任用。(人事担当課長が認めた場合のみ6か月以内の任用が可能)

表を基にした分析

- ① 非正規公務員率は39%!
- ② 専門職率は44.7% うち58.3%は非正規公務員が担っている!
- ③ **非正規公務員のうち77.4%は女性である!**

つまり!!
町内の専門職は、ほとんど非正規の女性が担っている!